

教えてドクター

肝機能の見方とは？

今回は通院や健康診断などで、皆さんが目を通す検査結果表に記載される「肝機能検査」の項目について解説します。

AST、ALTは「肝逸脱酵素」と呼ばれ、肝細胞が壊れる際に血中での濃度が上昇します。肝炎（ウイルス性など）や薬物性肝障害で肝細胞が破壊されると増加し、検査では「肝機能障害」として異常値を示します。ただし、ALTは肝臓に特異的ですが、ASTは心臓や骨格筋への負担や障害（心筋梗塞、激しい運動後など）でも上昇するので注意が必要です。

ビリルビンはいわゆる「黄疸」の指標で、肝臓で産生される胆汁が胆嚢炎、胆管炎、薬物性肝障害などでうっ滞することで上昇します。また「溶血」といって、赤血球が壊れるような病態でも上昇することがあります。

ALPとγ-GTPも、胆汁のうっ滞で上昇します。ALPは骨の病気（骨折、骨腫瘍など）でも上昇することがあるので、他の肝機能の数値が正常でALP値のみ高い場合は注意が必

要です。γ-GTPはよく耳にする項目だと思いますが、アルコール性肝障害や脂肪肝などで上昇するので、高い値を指摘されたら普段の飲酒量を確認してみてください（飲酒はアルコール換算で1日20g未満が適量です）。

健診で異常が示されて一度は医療機関を受診するものの、その後の健診で同じ項目の異常を指摘されると「また同じことを言われるだけだから」と、受診しなくなる人がいます。肝臓は「沈黙の臓器」と呼ばれ、肝硬変や肝臓まで進行して症状が表れた時には、救命が厳しい状況になっていることもあります。異常を指摘された際は「何も症状が無いから大丈夫」と思わず、必ず医療機関を受診するようにしてください。

DOCTOR

今回の教えてドクターは…

鹿児島大学病院 消化器内科
伊集院 翔 先生



セミナーのご案内

◎鹿児島県肝炎医療コーディネーター 研修会 オンライン開催

日時：6月11日(日) 10時～

対象：肝炎医療コーディネーターとして
活動希望の人、医療機関・行政の職員など

◎日本肝臓学会「肝がん撲滅」市民公開 講座

日時：7月30日(日) 午前

会場：鹿児島県医師会館（オンライン参加も可）

対象：県民全般
（肝疾患の予防、治療などに興味がある人）

◎第1回 鹿児島県肝疾患診療連携 ネットワーク研修会 オンライン開催

日時：10月17日(火) 17時～(予定)

対象：医療従事者、肝炎医療コーディネーター

◎鹿児島県肝炎医療コーディネーター 養成講座 ハイブリッド開催

日時：12月3日(日) 午前

会場：ダイワロイネットホテル会議室
（オンライン参加も可）

対象：肝炎医療コーディネーターとして
活動希望の人、医療機関・行政の職員など

◎第2回 鹿児島県肝疾患診療連携 ネットワーク研修会 オンライン開催

日時：2024年1月23日(火) 17時～(予定)

対象：医療従事者、肝炎医療コーディネーター

詳しくは開催日の1カ月前に、
肝疾患相談センターの
ホームページでご確認ください。

鹿児島大学病院肝疾患相談センター→

